

清松園デイサービスセンター運営推進会議録

事業所名	清松園デイサービスセンター	サービスの種類	地域密着型通所介護施設
事業所住所	北九州市門司区大字畑1960番地		
開催日時	平成30年3月9日(金曜) 13:25~14:30		
開催場所	清松園デイサービスセンター内 娯楽室		
出席者 氏名 構成区分等	清松園デイサービスセンター ※ ご利用者様とご家族様の氏名は個人情報保護のため記載致しません。 入所者代表 (1)名 家族代表 (1)名 所長 天野弘隆 生活相談員 山本朱美 地域住民代表 尾ノ上町内会長 古田 伸吉 様 北九州市社会福祉協議会職員 介護サービス相談員 栗原久子 様 地域密着型通所介護に知見を有する者 日赤豊寿園通所介護係長 荒木美奈 様		

平成29年度 第2回 清松園デイサービスセンター 運営推進会議録

レジュメ(式次第)通り進行を所長天野が行う。

運営会議参加者の紹介。利用者ご家族様はイニシャルとするところではあるが、ご家族様自身からお名前を名のられる。また、運営推進会議の趣旨説明は前回開催時とメンバーが同じであったため、了承のうえ省略。

平成29年度の利用状況報告を行う。前年度と介護別、利用平均値別に見比べていただく。

前年度平均約1名利用者減である。

職員の状況について、前回より看護師の変更があります。本来なら毎日勤務をしていただきたいところではあるのですが、今は週1回程度「船津さん」という方が利用者の状況・状態に合わせ来ていただいています。

行事について、4月~8月については、前回報告をしていますので省略いたします。9月からの行事です。

9月非常災害訓練をしています。清松園では、避難訓練を年4回・非常災害訓練を年2回実施していますが、今回Jアラートが発令されたという想定で特養と同時開催しましたが、実際数分では避難が困難なためデイサービスでは大きな柱の陰にみんなが集まるということを行いました。

10月シルバー文化祭の作品展(別紙で社協便りを付け表紙となった作品をみていただく)。

4月の実績にもあるように、このころから創作活動をして準備していました。

その他行事の詳細説明。

前回運営推進会議より

・避難訓練や災害訓練を告知せずに突発的に実施してみてもどうか？

施設回答:より実践的であると思われるが、現実急に始めると職員は対応できると思うが、利用者が本当だと勘違いして急に立ち上がった不穏状態になる等リスク検討を行い、実施へと結び付かなかった。

・デイサービスセンターへの要望などが伝えやすいような配慮は？

施設回答:なかなか伝えるにくいこともあり、前回よりの課題です。今は、相談員などが担当のケアマネージャーなどに自宅へ帰ってからの様子や家族からの申し出などを聞いてもらい情報収集をしています。

今現在利用者・家族からの不満の声は聞かれていません。

・利用ニーズの問題、就労の問題。

デイサービスに限らず就労者が不足している。その中でサービスの提供にも限界がある。また、門司のニタ松町に老人施設ができるので、利用者や就労者が流れていくことも予想できる。

質疑応答

ご家族様より、老老介護で家族自身も限界を感じている。整骨院に通う等して頑張っている。

前回は話したが、ショートステイを清松園でも復活させて欲しい。

施設回答:先ほども話したが、職員配置が清松園では一番の課題である。また、多床室であるため、コンスタントに利用者の確保も難しい。就労者が満たされれば直ぐに検討していきます。

家族の方からも大変お世話になっている。苦情などは一切ありませんと労いの言葉をいただく。

北九州市社会福祉協議会・地域代表の方より。

施設の状況等は本会議でいろいろとわかった。地域に利用者など宣伝をしてあげたいが、福祉協力員等4名で地域をカバーしている。中には10年選手も多く、70代80代の方も大勢いるなど町内での苦労も話されていた。

もし、必要であれば職員募集のチラシなどがあれば町内に配ることは可能であると温かい応援もいただく。

従業員の給料が安いと聞くが現状はどうなのか知りたい。

職員が居るなかでなかなか答えにくいですが、新聞等のメディアで伝えられている通りです。

平成30年度介護報酬改定資料と通所介護・地域密着型通所介護資料添付し、基本報酬のサービス提供時間区分の見直しについてのみ説明。現行は清松園の場合5～7時間の算定で今後は1時間ごとに区切りがあり、清松園では5～6時間のサービス提供をします。

(資料については、北九州市介護保険課よりダウンロード)

次回開催予定日	センター長確認 印
平成30年3月	